

安心とするおの町下町の手さめがして

防災 まちづくり版

発行の寺言問を防災のまちにする会

昭和63年9月1日

路地尊・旧墨堤之道・地蔵坂通り...

計画の実現へ 活動活発化

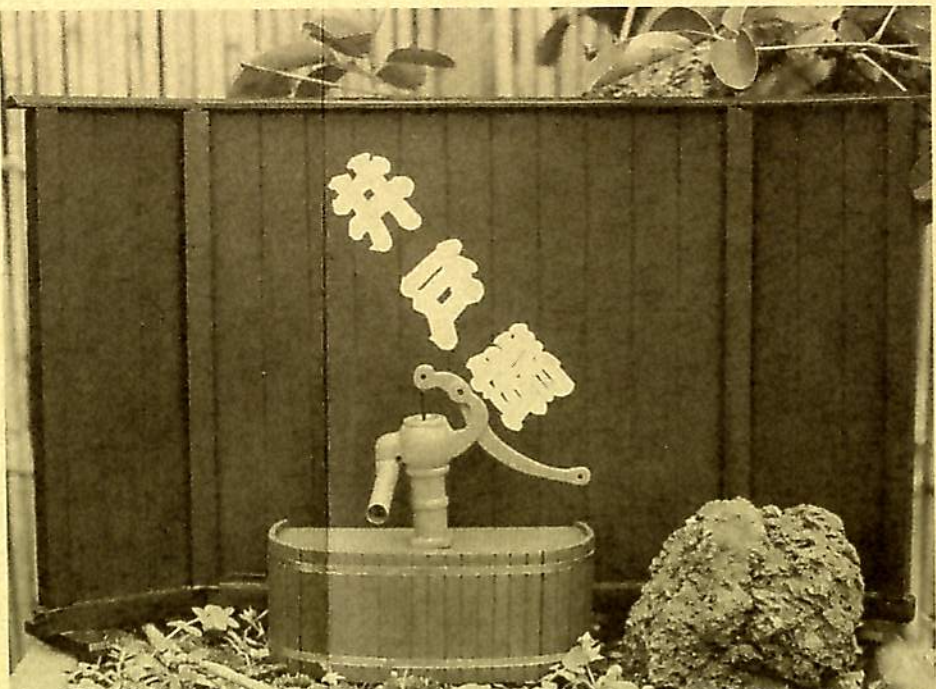
計画の実現に向けて、各地で活発なまちづくり活動がおこなわれています。

旧墨堤之道は、いよいよ設計に向けた議論の段階にはいりました。先日の沿道住民会議では、植物調査の報告などがおこなわれ、具体的にサクラなどをどうするかという議論がなされました。

地蔵坂通りでは、商店会と一言会の間で話し合いがおこなわれ、一言会は商店会に対して「安心して歩けるように商店会でも検討して欲しい」と申し入れをしました。これを受けて、近く商店会では防災に関するキャンペーンを張るそうです。

路地尊は、各地で「今度は私たちのところに」という誘致宣言の声もあり、現在適地を選んでいるところだ。

その他、地域防災活動拠点会議づくりの議論も始まりました。細かな話になればなるほど、様々な問題がでてきますが、根拠強くまちづくり活動をすすめていきたいと存じます。



路地尊の新製品!? (模型製作/徳永暢男氏)

実施

旧墨堤之道

墨堤の名残りの道を歩きやすくする計画

初めて墨田区の担当者をまじえた会合を開き、いよいよ設計に向けた議論の段階にはいった

旧墨堤之道の整備については、これまで一言会と沿道の人たちの間で協議してきましたが、今年の二月に整備に向けた合意がまとまり、たこのことを受け、さる七月十四日、初めて墨田区の担当者をまじえた会合が開かれました。沿道の人たち約二十名が集まり、この会合では、植物調査及び交通量調査の報告、サクラに関する三二議案、今後の検討課題に関する話し合いがおこなわれました。それによる



(1) 旧墨堤之道の植物調査結果(沿道の人たちが植えた植物が、モモ、ウメ、サクラなど豊富、等)に基づき、現在の植物に留意した整備方法の検討が議題になり、次回に植栽案をもとに議論することになりました。

(2) サクラの種類と特性について、墨田区の専門家から説明を受け、これまでのサクラのシンボリックな配置に加え、沿道の列植が今後の検討課題になり、次回、スライド写真により、ソメイヨシノ以外のサクラの形や大きさなどについて話を聞くことになりました。

(3) 七月六日に交通量調査がおこなわれ、歩行者と自転車の交通量が自動車に比べて多いことなどが明らかに

私がおまぐり
スタッフです。

13

瓦版編集局
高原純子さん



二二東向島一丁目で生まれ育ち、二人の男の子を現在教育進行形?の高原純子さん。子育て中から、地域の親子体操、幼稚園の父母会といろいろなことに関心を持ち、一言会の事も全戸配布される瓦版で知り、自分の街を自分たちの努力で住み良くできるかもしれないという期待を感じたという。

「街は生きている。子供の成長や自分の老化よりも速いスピードで変化していきそうな気配を感じる。自分のできる部分でまちづくりに参加しよう。」

そう思って瓦版づくりに参加し、もうすぐ二年目になる。目下瓦版づくりの仲間を募集中! 誰か一語にまちづくりを考えてくれる人を探してみます。

(若木菊枝)

一寺言問 / 防災まちづくり瓦版

第15号 昭和63年9月1日発行

編集 / 一言会・瓦版編集局

高原純子、若木菊枝

(編集協力 / ママ都市建築研究所)

発行 / 一言会・事務局

墨田区権網10b-1 墨田区都市整備
部南地区センター内 Tel (626) 3151 (R655)

地蔵坂通りは、車の往来が多く、その上不法駐車や商品のはみ出し陳列などにより、歩行者にとっては歩きにくい道だとたまたまいわれてきました。自動車の交通問題と沿道の利用の仕方は、商店会でも、一言会でも、よく議論されてきま

地蔵坂通りを安心して歩ける道にしていくには——一言会の地蔵坂通り担当(東向島一丁目中町会、東向一南町会、東向島宮元町会)と地蔵坂通り商店会役員との懇談会が、さる八月一日に開かれました。

一言会では、地蔵坂通りは三とも通りとともに防災活動拠点の小学校と墨堤通り、水戸街道を結ぶ防災上重要な道路であるため、安全な道にするように「防災まちづくり計画」に盛りこみました。それを受けた墨田区の「一寺言問地区整備計画」においても、「地蔵坂通り及び三とも通りは、路面改良などにより、歩きやすい道にしていく。また沿道住民のまちづくり協定等により、不燃化、落下物対策をすすめ、安全性を高めていく」としています。

議論の末、それぞれ話し合いで出た課題を持ち帰ってよく話し合うこと、今後こうした協議を重ねていくこと、十月から十一月を目標に整備に向けた合意を固めていくことを確認しました。

した。懇談会では、次のような意見が出されました。

- 地蔵坂通りは生活道路である。車両通行を規制せず、いかに安心して歩ける道にしていくかが課題である。
- 路面の舗装を改良すると、通過する車のスピードはゆっくりになると思う。
- 不法駐車や商品のはみ出し陳列を規制するよう独自のルールをつくる必要がある。
- ルールの運用は、喫煙問題として難しいのではないか。
- はみ出し陳列などの問題は、商店会として十分に話し合っていていく必要がある。
- 電柱を細くしたり、色を塗ったり、街灯や標識とともに配置の仕方を変えることなどが必要である。



地蔵坂通り

協議

地蔵坂通り

ふだんから安心して歩ける道にする計画

防災上重要な道路だから、不法駐車やはみ出し陳列などを検討してほしいと商店会に要請



旧墨堤之道

サクラの種類と特性

- ソメイヨシノだけがサクラではない。
- ソメイヨシノは生長が早いので、毛虫がつきやすい。
- マメザクラは、樹高が2m内外と小ぶりなので毛虫がつきにくい。「清楚な乙女の美しさ」があり、小庭や鉢植えにも向く。
- オオシマザクラは、長命寺のサクラモ干に使われるサクラで、公害に強い。ハデさはないが、寿命は長い。

～墨田区緑化係・小山氏(談)



サクラの話をする
墨田区緑化係の小山氏

(4)歩道の整備に関しては、沿道の人たちの車両の利用を損ねないようにすることや、カードレールの設置の仕方を変えるなど、いくつかの検討課題が確認されました。検討結果については、警察との折衝後、図面として提示する事になりました。

七月十四日の会合風景

一寺言問の防災まちづくり

功労者に感謝状を送りました。

一言会では、先に一寺言問地区の安全性やうるおいの向上に努力していただいた方を毎年10名程度表彰することを決めました。このほど次の7名の方々が今年の一寺言問防災まちづくり功労者に選ばれました。

- 〈塙の生け垣化〉
 - 倉兼 宏充さん (東向島一丁目)
 - 池田 昭二さん (堤通一丁目)
 - 干野田かねさん (向島五丁目)
 - 菅原 恵二さん (東向島一丁目)
- 〈路地帯設置の協力〉
 - 伊藤 弘さん (東向島三丁目)
 - 早矢仕恵也さん (向島五丁目)
 - 堀 弘さん (向島五丁目)
- 〈細街路の拡幅〉
 - 早矢仕恵也さん (向島五丁目)



(右から)
・倉兼さん
・菅原さん
・早矢仕さん
・堀さん

さる6月17日、東武信用金庫本店にて、功労者に感謝状を贈呈されました。来年は感謝状を贈呈する人数も増えたいですね。

NEWS

一寺言問のまちづくりについて 都市計画学会で報告

都市計画学会のシンポジウム(六月二十三日、二十四日、日本青年館)で、一寺言問のまちづくりの活動内容が発表され、大変反響を呼びました。発表したのは、わいわい会の佐原滋元さん(一言会理事)。一寺言問まちづくり「百花園の復興をめぐる」と題し、向島百花園周辺の環境と防災・活性化の両立をめざした活動を中心に、講演しました。先号で報告したまちづくりアンケート調査の結果を報告すると共に、現行の建築基準法、都市計画の問題点を指摘し、次のように結ばました。

「私たち、一言会のまちづくりでは、まちの活性化とともに『花鳥風月』を愛するまちをイメージし、『前例』に拘泥することなく、子供達のために膨張したいと思えます。なにとぞ、専門家の皆様におかれましては、皆様のお立場やお仕事の中で、制度の改善、事業の推進を通じて、『花鳥風月』の愛しめるまちの実現にご協力いただきたいと思います。」

提案

地域防災活動拠点会議

災害時の応急活動態勢についてみんなでお話し合う

大地震が発生したら、あなたはどうか。一言会では今、災害発生時の応急活動態勢について話しあう会議の設置に向けた議論がおこなわれています。この会議は「地域防災活動拠点会議」といって、墨田区が更生小学校地区などでモデル的にすすめています。七月の理事会では、同会議を推進している墨田区防災課の石野課長をお呼びして話しを伺いました。それによると、

○一寺小地区(東向島一丁目中町会、東向一南町会、東向島官元町会、堤通一丁目町会)と言問小地区(向島五丁目東町会、向島五丁目西町会)は、消防署等防災関係機関が別である。○地区には、二寺小の通学区域もあり、また一寺小、言問小には地区外にも通学区域が広がっており、地区の範囲と小学校通学区域と一致していない。

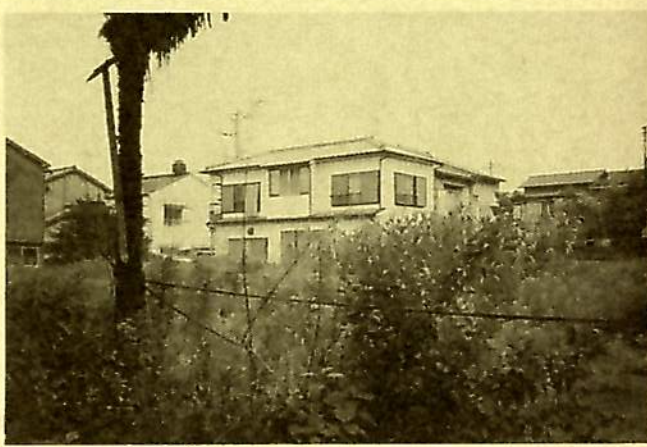
●更生小学校地区では、小学校通学区域を単位として、町会、自治会、学校、消防、警察署等防災関係機関などによって、会議、訓練が実施されています。構成団体や会議等の進め方は、それぞれの地域の特性に応じて決めていくことが大切です。●会議では、町会同士の連携の仕方、商店会や消防、警察署などの連携の仕方、指揮命令系統の体系化などがポイントになります。

BOUSAISEIKATUKEN - 防災生活圏

ホウサイセイカツケン、って何ですかという問い合わせにお答えします。墨田区がすすめる防災区画化計画の「防災区画」とほぼ同じ意味で、東京都がすすめる防災上のブロック(地域単位)のことです。大地震時の市街地大火を防止するための延焼遮断帯の整備とこれにより、囲まれた「防災生活圏」域内の防災まちづくりとによって、「火を出さない」「火をもらわない」「ブロックを形成し」「逃げやすいまち」をつくり、いこうとするものです。一寺言問の防災まちづくりは、そのモデル事業としてすすめています。

高田製薬跡地(東向島二丁目) 一言会として 一時使用を要請

区長に早期買収を要請している高田製薬跡地(東向島一、二、三、約三〇〇坪)を一時的に地元住民に貸してほしいと、地主さんにお願いくことにになりました。同跡地は、現在未利用地で、雑草がおい茂っているため、火の元にもなりかねないことから、一言会では草刈りを申し入れるとともに、イベントなどの一時的な使用を要請するという事です。



高田製薬跡地

七五調で

メッセージ大募集!

最近ほやりの五七調でメッセージをお寄せ下さい。あて先は一言会事務局まで。

防災に想いをかけたみとがいて

一寺言問 まちづくりの浦く

防災にかけたおもいあつまりて

雨水ためし 路地尊でできる

ホント押し水の温くさを感じおり

原女



「路地尊」デモンストラカード!?

▼このところ、朝日新聞の天声人語をはじめ、路地尊が新聞紙上を賑わしてほす。これは、昭和63年7月31日付日本経済新聞の第一面。

三ニキョア路地尊から究極の路地尊まで 路地尊7タイプ発表

一言会は、今後設置していく路地尊は、従来型のタイプ(雨水利用型など)を含め、次の7タイプあることを発表しました。

- ① 塀の間に設置する路地尊
- ② 生け垣と併せて設置する路地尊
- ③ 隔り部に設置する路地尊
- ④ 井戸水のサインとしての路地尊
(井戸水を路地尊、ホントと直結するタイプもある)
- ⑤ 防災協定を明示するステッカーの路地尊
(あるいは三ニキョアの路地尊)
- ⑥ 雨水利用型路地尊
- ⑦ (まちづくり用地に設置する)いろいろなアイディアを盛り込んだ路地尊

春秋

タイソン、ロジソン、ガリクソン—今、東京の下町では、この三つに人気集中と聞いた。しかしロジソン

がわからない。隅田川の向こうの東向島へたずねて行った。「寺島という地名までなくすんだから、幸田繁伴がいんだよ、文さんほこで生まれたんだ」。雨の中を案内してくれたのは「一寺言問を防災のまちにする会」副会長の徳永暢男さん。

▼たどりついた先は、旧・鳩の街の路地の奥。大きな桶おけ(の上)に手桶を三角形に積んだ防火用の天水桶。昔、町かどで見かけたあれとそっくりのスタイルをしたのがロジソン(と路地尊。高31cmほど、黒いフェロセメント製。「路地を大切に」という命名したが、言い得て妙、なるほど路地の守り神だ。

▼民家の屋根に降る雨を地中の三ツタンクに導き、非常時に備える。徳永さんら「下町のエンジン」たちのアイデアを、区役所が形にした。おかげで、懐かしい手押しポンプで水をくみ、子供たちは金魚を飼い、大人たちは植木に水をやる。出かけるときはここに集まり、井戸端会議にも花が咲く。町なかのオアシスとして、日常の役にも立っている。

▼小は路地尊から大は国技館まで、雨水利用システムに先んずけたのは東京の下町地区。今では、計画中含めると、都内の百近い施設に採用されるまでになった。天からの水もろい水を流してしまわないもう一つのウオーターフロント作戦である。

▼あす八月一日は水の日。東京地方もやと梅雨が明けそう。隅田川の花火も終わって(とんどは路地尊の周りで、ゆかたがけの下町っ子たちが、線香花火を染しむ季節に入る。

新しい緑化制度です 庭木を植えたい人へ

費用の三分の二を助成

大きな木を植えたい方に、耳よりな話です。一寺言問地区は昨年度から緑化のモデル地区に指定され、生け垣にした人に全費用の三分の二の助成があることはすでにご存知のことと思います。今度はそれに加えて、工場、事務所、集合住宅、駐車場などの沿道帯に、幹回り20cm以上で、高さ3m以上の樹木を植えた方に、植栽に要した費用(土壌改良費と植栽費)の三分の二を助成する、という新しい制度が始まりました。詳しいことについては、希望者と協議の上決めていくということですが、大きな木を植えたい方は、墨田区緑化係(同六二六・三一五一内608)に電話して下さい。昭和65年度まで、一寺言問地区だけに適用される制度です。

向島の新名所! 路地尊

各地から見学 視察...

新聞やテレビなどを見て、都内外から多くの人が路地尊を見に訪れています。路地尊を写真におさめたり、ホントで雨水をくみあげたり、「私のまちにも路地尊をつくりたい」という人もいて、大変好評のようです。ただ中にはせ、かく来ても場所がわからず、金中で帰ってしまふ人もいます。そのような方に出合、たら、是非ご案内して下さい。

映画化が決まる!

一寺言問のまちづくりが、映画になるそうです。これは、墨田区が専門家に委託して製作する広報映画で、これから撮影にはいるそうです。期待したいですね。

路地尊

ROJISON

の話題

キッチン福ちゃん 小泉龍一さん

向島五丁目路地尊が設置されて五ヶ月になります。路地尊の前のキッチン福ちゃんのご主人、小泉龍一さんに、路地尊のその後、二近所の評判などをうかがってみました。「取材/高原 純子」

路地尊が置かれてから、ここの辺の人たちはみんな、植木の水やりは路地尊の水、と決めていますから、みんなバケツを持ってきては、水を汲んでいって植木に水をやっていきます。

水質検査をするために、一度水を抜いたでしょう。「水が出ない」と二近所で話題になりましたよ。その後なかなか雨が降らなくて、路地尊に水がたまらなかつた。梅雨入りしてだいぶ雨が降った頃、水を汲んでいたおばちゃん、洗面器をのぞきこんで、「水が前よりきれいになつた」と喜んでいました。

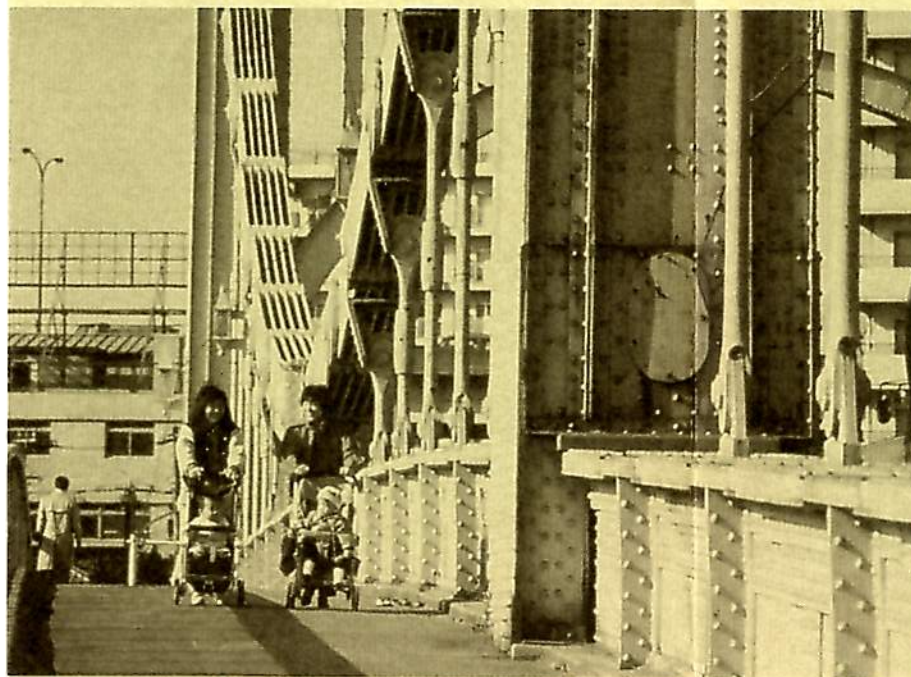
水道の水は消毒用の塩素が入っているけれど、路地尊の水は雨水だから良いと、金魚やたなごを飼っている家でも、水を持っていきますよ。ごこからカサを聞いて、自転車に乗った人が一升ビンに水を汲んでいくのを見かけたこともありま。

子供もホントを押して遊ばますよ。遊ばますが、悪いことはいない。路地尊の水も、出るのが当たり前。出ない方がおかしい、という感覚。

二近所では生活の一部になつた、たというこでしようね。



小泉さん



◀ 白鬚橋 (乗京線オトスライド「わがまち再発見」より)